

# 受注企業動向調査結果

-2013. 7-

- 調査時点 平成25年6月調査（平成25年6月末時点）
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎（3、6、9、12月末時点）
- 回答企業 100社（回答率：66.7%）

## <業種内訳>

一般機械器具	22社
金属	21社
プラスチック	8社
精密機器	11社
縫製	8社
鉄鋼・非鉄	9社
電気機器	14社
輸送用機器	7社
計 100社	

DI (Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

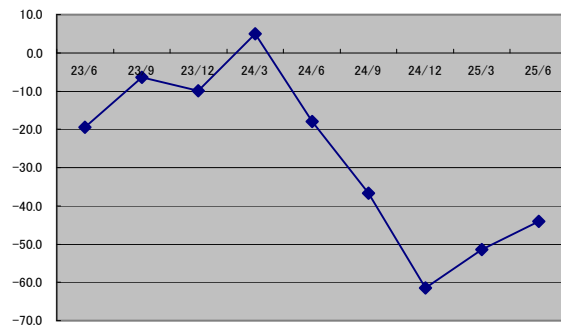
## 生産高（対前年同月比）DI

### 未だ低水準だが、緩やかに回復の動き

#### 【概況】

生産高DIは▲44.0となり、前回の▲51.4から7.4ポイント増とわずかに改善した。  
自動車関連企業、電気機器関連企業等の輸出関連企業の一部は円安の影響で国内生産高が増加している。一方で、電気・ガス料金の値上げや原材料価格の上昇も進んでおり、上昇分を販売価格へ転嫁できずに収益が悪化している企業も少なくない。

生産高(前年比較)DI



	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6
生産高(対前年同月比)DI	▲19.4	▲6.4	▲9.9	4.9	▲18.0	▲36.7	▲61.5	▲51.4	▲44.0

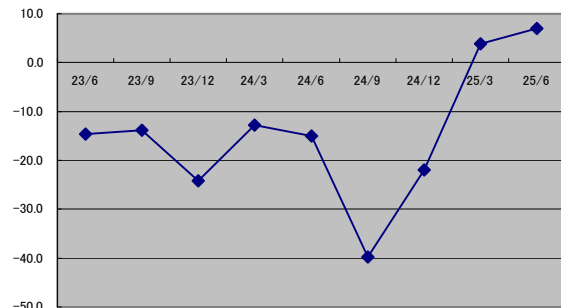
## 3ヶ月先見通しDI

### 前回から横ばいで2期連続のプラス値

#### 【概況】

業況3ヶ月先見通しDIは7.0となり、前回の3.8から3.2ポイント増でほぼ横ばい。  
大手を中心に一部輸出関連企業の業績回復を受け、業績回復を期待する企業も増えてきているが、受注企業への波及はわずかである。

業況3ヶ月先見通しDI



	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6
業況3ヶ月先見通しDI	▲14.6	▲13.8	▲24.2	▲12.7	▲15.0	▲39.8	▲22.0	3.8	7.0

## 受注単価 D I

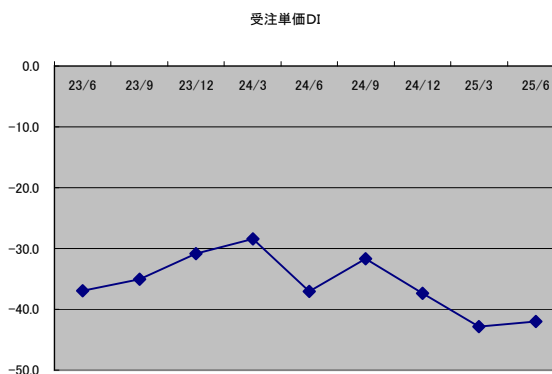
### 低調に推移

#### 【概況】

受注単価 D I は▲42.0 となり、前回の▲42.9 から 0.9 ポイント増で前回から横ばい。

受注単価はこの 2 年間、低調に推移しており、改善の兆しは見えない。

企業のグローバル化が進み、中小企業においても海外での現地生産・供給をする企業が増加しており、人件費の安い海外とのコスト競争は避けられず、今後も受注単価は厳しい状況が続くと見られる。



	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6
受注単価 D I	▲ 36.9	▲ 35.1	▲ 30.8	▲ 28.4	▲ 37.0	▲ 31.6	▲ 37.4	▲ 42.9	▲ 42.0

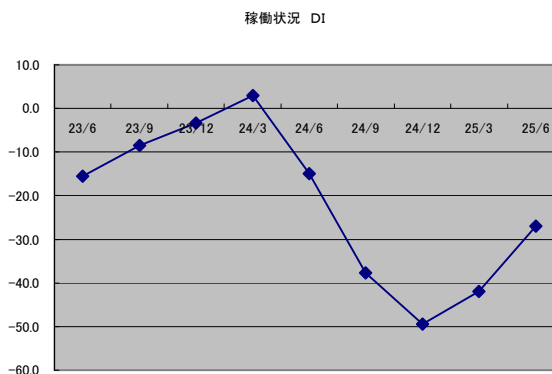
## 稼働状況 D I

### 生産高増により稼働状況も改善

#### 【概況】

稼働状況 D I は▲27.0 となり、前回の▲41.9 から 14.9 ポイント改善した。

生産高増により前回から改善を見せたが、未だ低水準から抜け出せていない。



	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6
稼働状況 D I	▲ 15.5	▲ 8.5	▲ 3.3	2.9	▲ 15.0	▲ 37.8	▲ 49.5	▲ 41.9	▲ 27.0

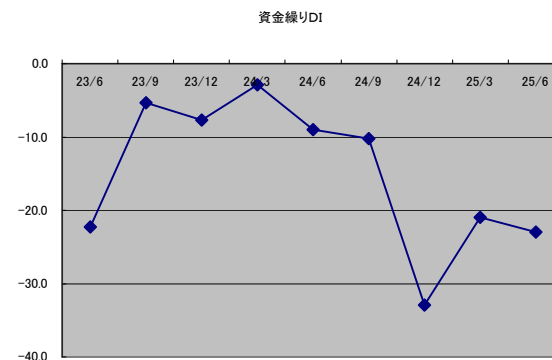
## 資金繰り D I

### 収益環境が悪化

#### 【概況】

資金繰り D I は▲23.0 となり、前回の▲21.0 から 2.0 ポイントの悪化となった。

電気・ガス料金、原材料価格の上昇で、企業収益を圧迫する環境が強まったことが、今回の要因か。



	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6
資金繰り D I	▲ 22.3	▲ 5.3	▲ 7.7	▲ 2.9	▲ 9.0	▲ 10.2	▲ 33.0	▲ 21.0	▲ 23.0